



Title	吐魯番出土文物研究会会報 別冊 第1号 : 総目次・第1号～第50号
Author(s)	
Citation	吐魯番出土文物研究会会報. 1990, 1, p. 1-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/78861
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

吐魯番出土文物研究会会報

1990年12月1日

吐魯番出土文物研究会

別 冊

総目次・第1

号～第50号

【は じ め に】

本冊子は、『吐魯番出土文物研究会会報』（以下、本誌）の第1号（1988年8月26日発行）から、第50号（1990年12月1日発行）までに掲載された記事の、内容別総目次である。

本誌は、第1号が第2回大会の会期中に発行されてから、ほぼ定期的に、とくに第6号（1989年2月1日発行）からは、毎月1日と15日発行という半月刊のペースを維持して、第50号まで刊行されるに至った。既に総目次は第18号（1989年8月1日発行）と、第42号（1990年8月1日発行）に掲載したので、ここには記事を内容別に分類した総目次を新たに作成し、掲載することにした。詳細については、下記の凡例を参照されたい。

1. 本目録は、本誌の記事を、会告、大会関係、文書閲覧、研究、史・資料集成、翻訳、学術交流、学界動向、文献目録、中国出版物解題・総目次、新著紹介、会員の研究成果、雑纂、紹介、総目次、およびその他の一六項目に分類して、号数と頁数を示したものである。
2. いずれの項目も、記事の表題（ただし新著紹介については、紹介した論著の副題を省略した）、号数（カッコ内の数字）、頁数（複数にわたるものは最初の頁と最後の頁を示した）などを掲載した。執筆者（编者・訳者）については、大会関係の発表要旨、研究、史・資料集成、翻訳、学界動向、文献目録、および中国出版物・解題などでは冒頭に、また新著紹介、雑纂、および紹介では表題の後のカッコ内に示した。執筆者の明記されていない記事は、研究会の責任において執筆されたものである。また複数の号にわたる記事は、それぞれの号数と頁数を、／で示した。
3. 各記事の不備や誤り、印刷上のミスなどについては、その都度、補遺や訂正を行なったが、これらに関しては、各記事の末尾に、[] のなかに号数と頁数を示した。またひとつの記事について補遺や訂正が複数回に及んだ場合は、・で示した。

(以上)

□ 内 容 別 総 目 次 □

† 会 告

- * 発足にあたって……………(1) 1
- * 今後の活動方針……………(1) 4

† 大 会 関 係

A 活動記録

- * 第1回大会（1987年8月26日～8月28日）……………(1) 1
- * 第2回大会（1988年8月25日～8月27日）……………(2) 1
- * 第3回大会（1989年8月24日～8月26日）……………(22) 1
- * 第4回大会（1990年8月1日～8月3日）……………(46) 1

B 発表要旨

- * 荒川正晴「唐の中央アジア進出と交通制度」……………(1) 1
 - * 片山章雄「トゥルファン出土史料と突厥」……………(1) 2
 - * 白須浄眞「中国訪問日記」……………(1) 2
 - * 關尾史郎「トゥルファン新出高昌国税制関係文書について」……………(1) 3
 - * 町田隆吉「吐魯番出土文書とコンピュータ」……………(1) 3
 - * 荒川正晴「唐代西北辺境地域における通信機関」……………(2) 1～2
 - * 片山章雄「李柏文書について」……………(2) 2
 - * 白須浄眞「北庭都護府雜考」……………(2) 2～3
 - * 關尾史郎「唐代の「返抄文書」について」……………(2) 4
 - * 町田隆吉「麹氏高昌国時代の作人について」……………(2) 4～5
 - * 荒川正晴「スタイン将来長行馬関係文書の検討
—Ast. III. 3. 07-08, 037, 09-010. の分析を中心にして—」……………(22) 1～2
 - * 片山章雄「七世紀初頭の鉄勒・西突厥と高昌国」……………(22) 2
 - * 白須浄眞「唐代敦煌の城主と吐魯番の城主」……………(22) 2～3
 - * 關尾史郎「田畝作人文書」小考
—トゥルファン出土高昌国身分制関係文書研究序説—」……………(22) 3～4
 - * 町田隆吉「麹氏高昌国の使人について」……………(22) 4
 - * 荒川正晴「7世紀の史料にみえる鄯落馬と烏駱子」……………(46) 1～2
 - * 片山章雄「渡邊哲信の中央アジア探検、将来品」……………(46) 2
 - * 白須浄眞「新疆維吾爾自治区における唐代の城郭都市遺跡について
—近十年における調査報告の紹介を中心として—」……………(46) 2～4
 - * 關尾史郎「延壽元(624)年六月勾遠行馬價錢勅符」をめぐる諸問題」……………(46) 4
 - * 町田隆吉「麹氏高昌国時代寺院僧尼土地関係文書瞥見」……………(46) 5
- ## C 大会案内
- * 第3回大会……………(18) 1
 - * 第4回大会……………(42) 1

† 文 書 閲 覧

- * 1987年8月 (大谷1310, 1466, 1311, 1486, 1497, 1501, 1464, 2401)……………(3) 1～4
- * 1988年8月 (大谷5804～5828)……………(4) 1～4
- * 1989年5月 I
(大谷4888, 4890, 4906, 5792～5803, 5829, 5832～5838, 1071, 3388, 8077)……………(24) 1～4
- * 1989年5月 II (大谷1040, 4059, 3467, 4060, 4884, 4885, 4911)……………(25) 1～3 / [(37) 6]

† 研 究

- * 荒川正晴「麹氏高昌国の遠行車牛について—「高昌某年傳始昌等縣車牛名及給價文書」
の検討を中心にして—」……………(16) 1～4 / (17) 4～6
- * 關尾史郎「高昌文書中の「劑」字について—『吐魯番出土文書』割記(八)—」
……………(16) 4～6 / (17) 1～4 / (39) 3～6 / (49) 1～4
- * 關尾史郎「吐魯番文書にみえる四・五世紀の元号再論—侯燦「晋至北朝前期高昌奉行

- 年号証補」を読む」……(23) 1～4/(33) 1～4/(43) 1～6/[(47) 6]
- * 關尾史郎「高昌文書にみえる官印について－『吐魯番出土文書』割記(九)－」
 ……(40) 1～4/(41) 5～8/(44) 1～4
- * 荒川正晴「西域出土文書に見える函馬について」……(40) 5～8/(41) 1～5
- * 片山章雄「渡邊哲信関係文献目録」……(44) 4～5
- * 片山章雄「渡邊哲信略伝(稿)」……(49) 4～5
- * 荒川正晴「古書展に出品された北館文書について」……(50) 4～6

† 史・資 料 集 成

- * 荒川正晴編「阿斯塔那古墳群墳墓一覧表」
 ……(8) 1～6/(9) 1～4/(10) 1～4/[(11) 4]
- * 荒川正晴編「哈拉和卓古墳群墳墓一覧表」……(11) 1～4
- * 荒川正晴編「阿斯塔那古墳群墳墓一覧表－スタイン隊発掘墳墓－」……(14) 1～3
- * 關尾史郎編「トゥルファン出土唐代税布墨書銘集成(稿)」
 －附、西安出土唐代銀餅刻銘－」……(21) 1～6/[(35) 6・(46) 6]
- * 荒川正晴編「新疆維吾爾自治区古代城址一覧表－黄文弼氏の調査報告を中心にして－」
 ……(26) 1～6/(27) 1～4/(38) 1～5
- * 關尾史郎・町田隆吉編「敦煌出土四～五世紀陶罐・陶鉢銘集成－附、書道博物館所蔵
 三世紀陶罐銘－」……(28) 1～6/(29) 1～4/[(34) 6]
- * 關尾史郎編「酒泉出土五世紀仏塔刻銘集成」
 －附、西安収集四世紀金錯泥甬刻銘－」……(31) 1～4

† 翻 訳

- * 榮新江著／青木 茂・關尾史郎訳註「吐魯番の歴史と文化」
 ……(34) 1～5/(35) 1～6/(47) 1～6/(48) 1～6

† 学 術 交 流

A 侯燦先生

- * 「闕氏高昌国の紀年について」……(5) 1～2
- * 「漢代の高昌壁について」……(5) 2
- * 「侯燦先生略歴」……(5) 3
- * 「侯燦先生主要著作目録」……(5) 3～4/[(12) 6]

B 陳國燦先生

- * 「座談会の記録」……(50) 1～2
- * 「陳國燦先生略歴」……(50) 2
- * 「陳國燦先生主要著作目録」……(50) 2～4

† 学 界 動 向

- * 荒川正晴「1988年・日本の吐魯番学瞥見」……(15) 1～4

† 文 献 目 録

- * 關尾史郎編「吐魯番出土文物關係論著目録（稿）－中文篇－」
 - 1959～1985・Ⅱ……………(6) 1～6/[(13) 6]
 - 1986……………(7) 1～6/[(13) 6・(16) 6]
 - 1959～1986・補遺……………(14) 4～6/[(45) 6]
 - 1987……………(30) 1～4
- * 關尾史郎編「吐魯番出土文物關係論著目録（稿）－国内篇－」 1988・Ⅰ……………(15) 4～6
- 1989……………(39) 1～3

† 中国出版物解説・総目次

- A 『中国敦煌吐魯番学会研究通訊』
 - * 片山章雄「『中国敦煌吐魯番学会研究通訊』について」……………(19) 1
 - * 片山章雄編「『中国敦煌吐魯番学会研究通訊』総目次」……………(19) 2～6/[(20) 4]
- B 『中国敦煌吐魯番学会成立大会・一九八三年全国敦煌学術討論会会刊』
 - * 荒川正晴・關尾史郎編「『会刊』解説・目次」……………(20) 1～3
- C 『新疆文物』
 - * 白須淨眞「『新疆文物』について」……………(32) 1～2
 - * 白須淨眞編「『新疆文物』総目」……………(32) 2～10
 - * 白須淨眞「「吐魯番地区文物分布目録」と「吐魯番地区文物分布情況示意图」について」
 - ……………(32) 10
 - * 「吐魯番地区文物分布目録」……………(32) 11～17
 - * 「吐魯番地区文物分布情況示意图」……………(32) 18

† 新 著 紹 介

- * 嚴耀中「吐魯番文書中所見高昌郡兵民和軍政關係初探」(N)……………(12) 1～2
- * 侯燦「高昌章和十三年朱阿定妻楊氏墓表出土時間、地点与有関問題補論」(T)……………(12) 2
- * 王琳「旅順博物館藏新疆出土錢幣」(T)……………(12) 2～3
- * 林悟殊「論高昌“俗事天神”」(N)……………(12) 3
- * 王素「也論高昌“俗事天神”」(N)……………(12) 3～4
- * 楊際平「麹氏高昌土地制度試探」(N)……………(12) 4
- * 張鴻儒「麹氏高昌的土地買売和推行均田制的某些迹象」(N)……………(12) 5
- * 吳震「吐魯番出土“租酒帳”中“姓”字名実辨」(N)……………(12) 5
- * 謝重光「麹氏高昌寺院經濟試探」(N)……………(12) 6
- * 陳良文「吐魯番文書中所見的高昌唐西州的蚕絹絲織業」(N)……………(13) 1
- * 陳国燦「武周瓜、沙地区的吐谷渾帰朝事迹」(T)……………(13) 1～2
- * 吳震「吐魯番出土的“敦煌文書”」(T)……………(13) 2～3
- * 王素「吐魯番所出武周時期吐谷渾帰朝文書中史實考證」(T)……………(13) 3
- * 周偉洲『吐谷渾史入門』(T)……………(13) 3～4
- * 柳洪亮「安西都護府治西州境内時期的都護及年代考」(T)……………(13) 4/[(14) 6]

*新疆社会科学院歴史研究所編『新疆地方歴史資料選輯』(N)	(13)	4～5
*王永興編『隋唐五代經濟史料彙編校注』第一編(N)	(13)	5
*[第13号の補遺]	[(14)	6]
*齊陳駿・陸慶豊・郭鋒『五涼史話』(N)	(36)	1～2
*劉漢東「從西涼戸籍殘卷談五涼時期的人口」(N)	(36)	2～3
*段連勤「公元五世紀上半葉高昌歴史發微」(N)	(36)	3～4
*侯燦「吐魯番晋——唐古墓出土随葬衣物疏綜考」(N)	(36)	4～5
*蔣禮鴻「《吐魯番出土文書》第一冊詞釈」(N)	(36)	5～6
*錢伯泉「高昌国郡県城鎮の建置及其地望考実」(T)	(37)	1～2/[(39) 6]
*郭平梁「魏晋南北朝時期車師—高昌—一帶的民族及其相互關係」(N)	(37)	2～3
*杜斗城・鄭炳林「高昌王国的民族和人口結構」(N)	(37)	3～4
*陳国燦「魏晋至隋唐河西胡人的聚居与火祆教」(T)	(37)	4～5
*陳国燦「從葬儀看道教“天神”觀在高昌国的流行」(N)	(37)	5～6
*陳国燦「対高昌国某寺全年月用帳の計量分析」(M)	(45)	1
*朱雷「敦煌藏經洞所出兩種麴氏高昌写經題記跋」(N)	(45)	2
*張廣達「唐滅高昌国後的西州形勢」(N)	(45)	3～4
*程喜霖「《唐開元二十一年(733)西州都督府勘給過所案卷》考釈」(T)	(45)	5
*楊際平「唐代西州欠田、退田、給田諸文書非均田説」(N)	(45)	5～6

† 会 員 の 研 究 成 果

*Ⅰ (1987年8月～1988年8月)	(2)	5
*Ⅱ (1988年9月～1989年7月)	(18)	2
*Ⅲ (1989年8月～1990年7月)	(42)	2

† 雑 纂

*「覚書 旅順その他の大谷文書—大谷探險隊将来品(1)—」(片山章雄)	(2)	6
*「余信 シルクロード旅行記を読む」(N)	(13)	6
*「余信 「奏聞奉信」印の一資料」(N)	(17)	6
*「覚書 上海図書館所蔵、妙法蓮華経題記の紀年について」(關尾史郎)	(38)	6
*「覚書 居延出土、西晋時代の木簡について」(關尾)	(39)	6
*「覚書 「班示」という様式の高昌文書について」(關尾)	(44)	6

† 紹 介

*西北大学西北歴史研究室編『西北歴史研究』(N)	(20)	4
*史念海編『唐史論叢』(N)	(23)	4
*武汉大学歴史系魏晋南北朝隋唐史研究室編『魏晋南北朝隋唐史資料』(N)	(25)	4
*『第一屆國際唐代學術會議論文集』(N)	(29)	4
*『駿台史学』第七八号(N)	(34)	5
*西北民族学院西北民族研究所主弁『西北民族研究』(N)	(36)	6
*国家文物局古文献研究室編『出土文献研究續集』(N)	(37)	6

*『吐魯番出土文書』第九冊(N)	(44)	5
*《西域史論叢》編輯組編『西域史論叢』第三輯(N)	(46)	5
*馬雍『西域史地文物叢考』／侯燦『高昌樓蘭研究論集』(N)	(49)	6
*許海生主編『新疆古代民族文化論集』(N)	(50)	6

† 総 目 次

*Ⅰ(第1号～第18号)	(18)	3～4
*Ⅱ(第19号～第42号)	(42)	2～4

† そ の 他

*往来(栄新江先生の来日)	(31)	4
*案内(中国甘肅省文物展の開催)	(36)	6
*“中国吐魯番学学会”結成さる!!	(46)	6
*案内(大英博物館－芸術と人間－展の開催)	(49)	6

(以上)

□ 本誌への投稿について □

本誌『吐魯番出土文物研究会会報』は創刊以来、本日同時に発行された第50号まで、研究会の機関誌という性格から、五名の会員による記事のみを掲載してまいりましたが、これを機会に今後、会員以外の方々、とくに定期的な読者の方々にも本誌の誌面を開放することに致しました。直接間接を問わず、吐魯番出土文物に関する研究や情報であれば、原稿の形式や枚数は問いません。今後も当分の間は従来通り半月刊のペースで発行してゆく予定ですので、とくに速報性を必要とする記事を歓迎致します。また投稿は随時受け付けており、締切はありません。ワープロ原稿の場合は横書きで、一行45字でお寄せ下さい。

原則としてお寄せいただいた原稿は掲載させていただきますが、研究については、掲載について検討させていただく場合もありますので、ご了承下さい。またお寄せいただいた原稿は返却致します。

残念ながら謝礼は用意できませんが、投稿して下さった方には掲載された号の原稿(ワープロでプリント・アウトしたもの)を贈呈させていただく予定です。

なお原稿の宛先、この件に関する問い合わせ先は以下の通りです。

〒182 東京都調布市国領町5-19-14

荒 川 正 晴

TEL 0424(81)4633

事務局(連絡先) 〒182 東京都調布市国領町5-19-14

荒 川 正 晴 方

TEL 0424(81)4633

吐魯番出土文物研究会(The Research Society for Turfan Relics)